

沖縄で何かお考えでしたらば、  
それにはオーエスビー沖縄が  
お役に立ちます！

**OSBEE**

**OS**  
**NEWS**

編集・発行：株式会社オーエス マーケティング課

2017年10月4日発行

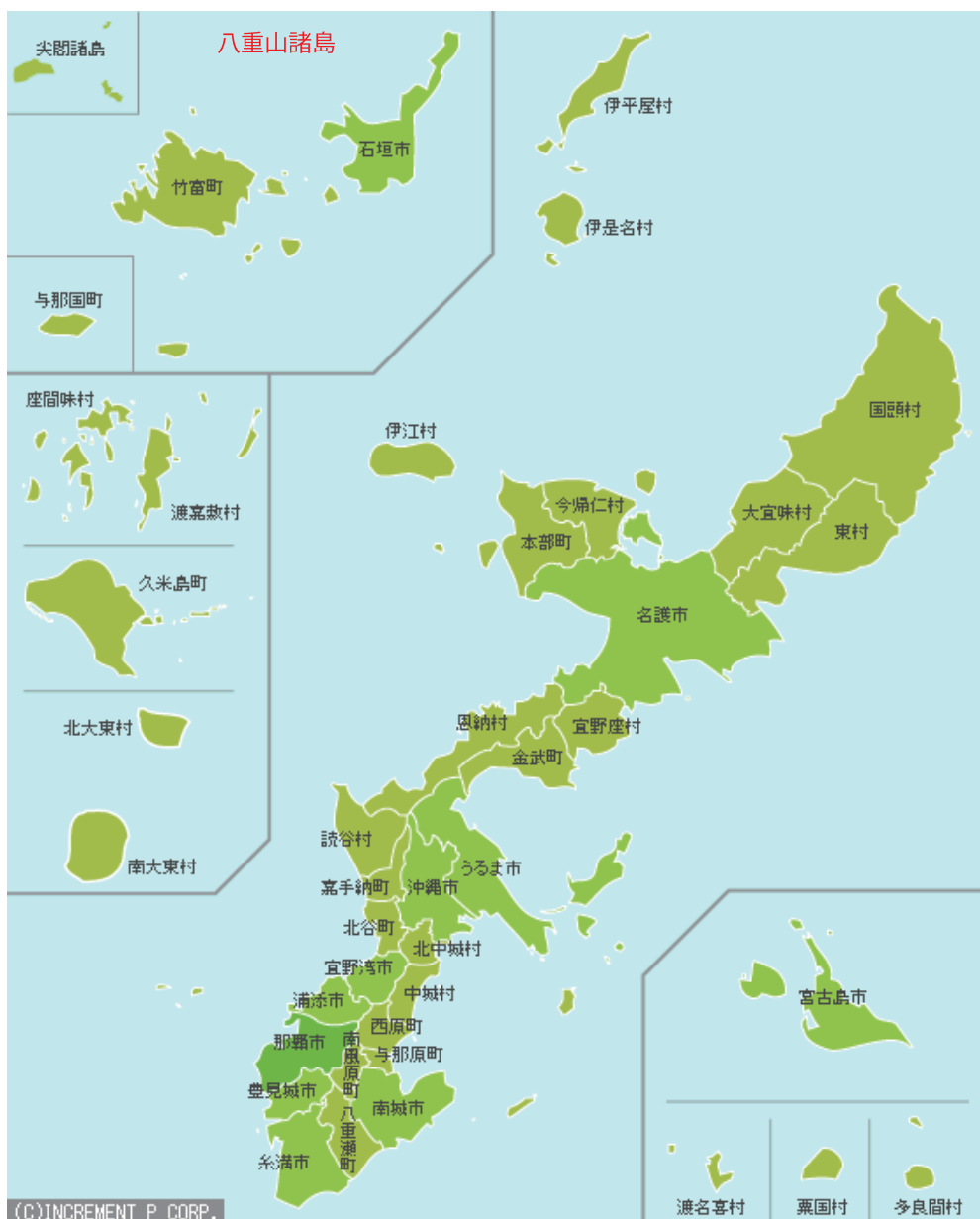
お客様へのお役立ち情報、  
トピック等をお知らせする **NO.13**  
情報誌をお届けいたします。OSnewsのバックナ  
ンバーはオーエス Web サイトでご覧いただけます。

沖縄以外の拠点で導入を検討、計画をされる際、現地  
での打合せや現場施工、調整作業など、相談できる  
会社探しに困ったケースはございませんか？

沖縄の中部に位置する北谷に会社がある“株式会社オーエスビー沖縄”が  
導入のお手伝いをさせていただきます。

サービスエリア

<https://jp.os-worldwide.com/osbee/>



### ◆対応エリア

沖縄県全域（八重山、離島を含む）

### ◆どんな時に？

- ・全国展開されている企業様の沖縄支店で、東京、大阪と同様の設備を導入したい。
- ・沖縄支店にテレビ会議システムを追加導入したい。
- ・納入先が沖縄だけ、沖縄以外の拠点で設計をしており現場納入の相談が出来る現地の会社を探している。
- ・各種納入機器は用意をするが、それらを沖縄県内に設置をし、その後の保守、メンテを引き続きお願いしたい。
- ・各種施設に黒板、白板、掲示板、サインなどを導入したい。

株式会社 **オーエスビー沖縄**

沖縄県中頭郡北谷町北谷 1-12-3 〒904-0116  
TEL.098-921-7577 代表：小森将司  
メール：b.info@os-worldwide.com



2017年8月1日、株式会社オーエスビー沖縄は、創立10周年を迎えました。

10年間を通じ、オーエス製品の販売はもとより、技術力を生かして、沖縄県内の教育機関の設備・備品、AV（音響・映像）システム工事・内装仕上げ工事など地元根差した業績を積み上げてまいりました。今後はIoTやAIの加速、学校ICTの推進などに取り組むとともに、サイネージにも注力してまいります。またパートナー様をはじめとして、沖縄での事業展開のサポートも安心の体制を引いておりますので、引き続きお問い合わせください。

## オーエスビー沖縄 事業内容

- ・各種施設や建築物の電動駆動設備・からくり装置等の企画、設計開発、製造、販売、施工。
- ・映像、音響、照明、制御等の装置に関する システム機器  
及びその周辺機器の企画、設計、開発、製造、販売、施工。
- ・イベントプロデュース、コンテンツ制作、ネット配信事業。
- ・映像ソフト、音楽ソフト等の録画物、録音物及びコンピュータソフトの企画、設計開発、制作、販売。
- ・黒板及び白板、掲示板、各種サインの制作・販売・施工・上記に関する、打合、保守、メンテナンス業務全般。



株式会社オーエスは二〇一四年に創立六十周年を迎え、今新しい歴史を刻もうとしています。代表奥村正之が歩みを振り返ります。「けんこんいつてき」で何が語られるか、お楽しみください。

ここから少し生産現場で勉強したことを、今となっては当たり前で少し恥ずかしさも残りますが、ご紹介いたします。

まず、物（部品・完成品）はすべて同一ではなく、同じようなものであるということ。

このことは物を製作する場合には図面というものがあ、ものの形や寸法が記載してありますが、そこには必ず公差というプラスマイナス〇〇といった数字があり、同一のものを作っているようですが、そのプラスマイナス〇〇の寸法内であることが許容範囲になって製作されているということをはじめて知りました。

ひとつひとつが微妙に違い全て同一のものがないということを知りました。

たとえば、部品段階での品質検査でプラスマイナス〇〇の公差の範囲内で全ての部品が合格品であっても、マイナス公差とマイナス公差が組み合わせられると出来上がった製品が不良品になることがあります。もちろんこの場合には公差の見直しをすることになるのですが、見直しをすると今度は部品の歩留まりが低下することがあり、生産コストに影響を及ぼすことがあるのです。

このような複雑なことが生産現場にはたくさんあるのです。大沢商会では完成品の仕入・販売といった商品1つ1つが単位だったので、わからなかったのですが、完成品を生産するためには多くの部品が組み合わされており、それらの部品の仕入はそれぞれ1回の仕入単位が違い、また発注してから納入されるまでの期間も違う。そして、たとえば1000個の部品を発注しても必ずしも1000個納入されるわけではないことを知りました。

時には998個であったり、時には0個だったり。いわゆる歩留まり率といわれる、生産上でいくつもの不良品が発生することで、納入数がばらつくのである。

0というのはあってはならないのですが、生産上で何かの不具合により使用すべきでないか判断した場合にはロットアウトとして納入数0になることもあります。

このような調整を部品1つ1つ、ねじ1本まですべて管理して、はじめてお客様に品質の良い製品をお届けできるとい、今では当たり前のことをこの時学びました。（続く）

乾坤一擲

013

代表  
奥村正之

記載内容に関するお問い合わせは、弊社担当者あるいはコンタクトセンターまでお願いいたします。